

令和5年度第2回契約監視委員会

【 議事要旨 】

令和6年3月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 令和6年3月7日（木）13：30～16：00
- II. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 6階 第一役員会議室
- III. 出席者 （委員）内田（海）委員長、内田（清）委員、岡野委員
戸田委員、千田委員
（機構）森澤財務担当理事
後藤財務部長、安部監査統括室長、水上監事室長、
赤塚企画課長、芳賀調達・管理課長

【議事概要】

1. 審議事項

(1) 令和5年度（4月～12月）契約の一者応札案件

今回の審議対象期間（令和5年度4月～12月）の契約案件のうち、一者応札・応募となった、12件の案件について、カテゴリ一別にまとめて、点検・審議した。

（※カテゴリ一別個別案件については（別紙1）参照）

2. 報告事項

(1) 大規模調達案件に係る再委託、外注に関する適切性の確認

「ものづくり・商業・サービス補助金」、「小規模事業者持続化補助金（一般型）」、「小規模事業者持続化補助金（共同・協業型）及び「事業承継・引継ぎ補助金」に係る事務局業務

(2) 令和5年度中小機構調達等合理化計画（4月～1月）実績

(3) 令和5年度契約監視委員会（第1回）の意見等に対する検討・対応状況

(4) 令和5年度（4月～1月）公益法人に対する1件あたり1,000万円以上の支出や前年度において同一の支出点検について

—以上—

○カテゴリー別個別案件の審議概要

[種別：システム開発・保守等]

(1) ①【データベース基盤に係る保守業務（令和5～6年度）】
議事概要・主な意見
システム構築後間も無く発注する保守業務は、障害発生リスクが高く参入が難しいと思われる。構築後安定した運用となるまでは構築業務に保守期間を含めて調達することを検討する必要がある。次回調達の際は発注見通しを公表し、新規参入を検討する事業者が準備できる期間等を確保して調達手続きを進めてほしい。
(1) ②【小規模企業共済制度・中小企業倒産防止共済制度のシステム再構築に係るミドルウェアの構築・保守業務】
議事概要・主な意見
業務の規模が大きく業務範囲も広いことから、受注できる事業者が限られたと思料。事前の準備（RFI、意見招請）もしている状況だが、参入を検討している事業者に対して応札可能な範囲を丁寧にヒアリングすることがさらに必要と思う。今後、同様の業務を発注する際には検討をお願いしたい。
(1) ③【共済専用ネットワークへのファイル転送アプライアンス及び関連機器の導入・設置業務】
議事概要・主な意見
半導体不足により期日までに製品を確保できる事業者が限られたものと思料。仕様書にて代替製品も可能なことを明確に記載するよう検討してほしい。また、製品の在庫状況など、事前の環境調査を十分に行う必要がある。
(1) ④【名刺情報データ共有サービスの導入・運用業務】
議事概要・主な意見
業務の規模感、全国的にサービスを展開する際の体制構築がネックになったものと思料。事前の情報収集の範囲を限定せず幅広く入札参加の働きかけを行うようお願いしたい。
(1) ⑤【人材支援事業『新データベースシステム』構築に係る全体構想策定支援業務】
議事概要・主な意見
事前検討の遅れから全体のスケジュールがタイトになり、急ぎ進めたが十分に参入予定の事業者へ情報発信が出来なかったものと思料。今後は、事前調査、準備を早めに行い調達手続きを進めていただきたい。

[種別：業務請負]

(1) ⑥【令和5年度よろず支援拠点の評価作業等に係る請負業務】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、競争参加資格の範囲を広げることや応札しやすいように業務の簡素化、範囲について検討する必要がある。
(1) ⑦【ファンド出資の投資領域のリスク・採算性調査業務】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、独立系コンサルタント会社なども含めた幅広い候補先へ、より早い段階から事前調査にしっかり取り組む必要がある。
(1) ⑧【令和5年度中小企業倒産防止共済契約者管理票の封入作業に係る業務請負】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、過去の事例を分析し、データの受渡方法や複数年契約について十分に検討する必要がある。
(1) ⑨【令和5年度北海道管内における事業承継デモンストレーション事業に係る請負業務】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、業務の範囲を見直し、関係機関にも協力を要請し幅広く入札参加の働きかけを行うことが必要である。

[種別：施設管理・保守・メンテナンス、工事]

(1) ⑩【賃貸施設における入金管理等業務】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、落札決定から履行開始までの準備期間を十分に確保することや履行期間を延長することを検討する必要がある。
(1) ⑪【賃貸施設における建物総合管理業務（中国）】
議事概要・主な意見
一者応札にならないように、落札決定から履行開始までの準備期間を十分に確保するとともに、過去の事例を分析し情報提供の範囲を広げるなど検討する必要がある。

(1) ⑫【令和5年度和光理研インキュベーションプラザ取付け管更新工事】

議事概要・主な意見

一者応札にならないように、小規模事業者の入札参加を促進するためには、入札手続きのサポート、事前のスケジュールの設定に留意し、工事着手日までの準備期間を十分に取る必要がある。

【講評】

- 1) 一者応札については、全体的に事前の確認項目をしっかり進めてほしい。
発注側との連携を深めるための勉強会を行っているが、調達等合理化計画の目的を理解して進めてほしい。なお、計画的に情報提供できるものは前広に出していくこと。
受注側の目線で競争できるように環境を整えてほしい。外的な環境変化にも配慮し、調達計画を考えていくこと。
- 2) 調達等合理化計画については、毎年取り組んできており、少しずつ浸透してきたと思う。次年度の同計画には、目的を理解した上で進めていくことを明記していただきたい。
- 3) 大規模調達案件については、企画評価委員会における評価の判断材料を提出していただければ事後評価もスムーズに進む。

最後に、調達等合理化計画当初の設置の意義を振り返りながら、当委員会を更に深化させていきたい。

以上